NEWS RELEASE

木を植えています 未来の子どもたちのために

２０２３年６月１日
公益財団法人イオン環境財団

「第33回イオン環境活動助成」公募スタート

本年も里山コモンズの再生に取り組みます

公益財団法人イオン環境財団（理事長　岡田元也　イオン株式会社　取締役代表執行役会長　以下　当財団）は、6月1日から「第33回イオン環境活動助成」の公募を開始します。

当財団は、設立以来の32年間、世界各地で地域ボランティアとともに環境活動に取り組んでいる非営利活動団体を対象に助成を行っています。これまで累計3,333団体に対し、総額30億2,961万円を助成しました。

第33回となる本年も、テーマを「里山コモンズの再生」とし、人と自然の共生関係が崩れかけつつある「里山」の様々な課題解決に取り組みます。里山の保全・修復・活用への取り組みが求められている中、地域内外の多様な人々と連携し、地球環境の持続性に貢献する「里山」を目指します。

また、本年からは、応募から各報告書の提出までの手続きを、ウェブ上に移行し、各手続きの簡便化を図り、応募団体の事務作業の負担を軽減します。さらに、助成団体との交流を深めより密な連携協働を推進して参ります。

当財団は、今後も、ひとつしかない地球を次世代へ引き継ぐため、助成団体をはじめ、地域の皆さまと連携し、様々な環境活動を実施して参ります。

記

■公募テーマ：　「里山コモンズの再生」

■活動分野：
1. 里山（里地・里川・里湖・里海を含む）の保全・維持・管理
2. 植樹を含む里山の修復
3. 野生動植物・絶滅危惧生物の保護
4. 自然資源の利活用
5. 自然環境教育
6. 里山に関わる伝承活動
7. 被災地の里山復興活動

■助成総額：　1億円

■対象団体：　豊かな自然を守り、持続可能な社会の実現のための環境活動に積極的に取り組んでいる非営利団体

■活動対象期間：　2024年4月1日～2025年3月31日

■応募期間：　2023年6月1日(木)～7月31日(月)

■応募方法：　当財団ホームページ「応募フォーム」にアクセス後、ウェブ上で申請

■公募説明会：　オンラインにて開催

＊応募方法、説明会等の詳細につきましては、ホームページをご覧ください：

http://www.aeon.info/ef/

以上

ご参考

【公募説明会】
以下の通り、公募説明会をオンラインにて開催いたします。
ご参加希望の方は、当財団のホームページから申込のうえ、ご参加ください。
http://www.aeon.info/ef/

日程	時間
6月10日(土)	15:00～16:00 / 18:00～19:00
6月16日(金)	10:00～11:00 / 16:00～17:00
6月22日(木)	10:00～11:00 / 16:00～17:00
6月28日(水)	10:00～11:00 / 16:00～17:00
7月 7日(金)	10:00～11:00 / 16:00～17:00

【第32回イオン環境活動助成 助成団体事例】

上段左から あびこ谷津学校友の会(千葉県)、愛知守山自然の会(愛知県、三重県、岐阜県)
特定非営利活動法人アーキペラゴ(香川県)、山中比叡平里山倶楽部(滋賀県)
下段左から 特定非営利活動法人ハロハロ(フィリピン)、かせやまの森創造社(京都府)
NPO 法人棚田 LOVERS(兵庫県)、吉田山の里山を再生する会(京都府)

【公益財団法人イオン環境財団】
「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也(当財団名誉理事長、イオン株式会社名誉会長相談役)により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として、1990年に設立されました。以来、多様なステークホルダーの皆さまとともに「植樹」「環境活動助成」「環境教育」「パートナーシップ」の4つの事業を中心に活動に取り組んでいます。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹活動】
国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、中国万里の長城などアジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに植樹活動を継続実施してまいりました。1991年からのイオン全体の植樹の累計本数は、1,255万本をこえています。昨年度、当財団は、北海道厚真町・南富良野町、宮城県石巻市、石川県金沢市、千葉県習志野市・君津市・山武市、滋賀県甲賀市、島根県松江市、宮崎県綾町等で植樹を行いました。また海外では、香港、インドネシアで植樹を実施しています。